

## 山行報告書

山行管理部

**テーブル山行 生駒山 3月12日** L松本(光) S濱田(浩) 参加16名  
生駒駅 8:36 — 宝山寺 — 薬師山鶴林寺跡 — 生駒遊園地 —  
山丈展望台 — 慈光寺 — ぬかた園地 — こぶしの谷 —  
くさか越え 15:30 — 額田 15:40

下見の時は寒波で石階段は雪が積もり凍り長い階段などで本番は大丈夫かと不安になりましたが、当日は晴天でハイキング日和。宝山寺も寺院もカラフルで、しばしの参拝。生駒遊園地での昼食は天気は良いが風が強く時間調整の為いつもより長く昼食。昼食後のコースで展望台まで降りると風はなく見晴らしも良いココで昼食をしたらと反省。みなさん無事に怪我もなく下山し一安心、いろいろ反省などありますが次に活かせたらと思います。(松本(光) 記)

**ウィークデー 春日山原始林を歩き若草山へ 3月15日**

L吉川・五十嵐 参加11名

近鉄奈良行快速急行 近鉄鶴橋駅 8:43分発→奈良駅 9:30着奈良駅 9:45  
～飛鳥中学 10:25～首切地藏 11:25～地獄谷入口 11:45～地獄谷新池  
(昼食) 12:15～峠の茶屋分岐 13:10～鶯の滝 14:10～  
十八丁休憩所 15:00～若草山 15:15～近鉄奈良駅 16:30着

雨模様の天気予報だったので滝坂の道の石畳みがすべらないか心配でしたが、少しばらつく程度で出発。朝早かったため観光客は少なかったが鹿が出迎えてくれました。滝坂の道は何度か歩いたがリスを見たのは初めてでした。地獄谷の石仏は岩をくりぬいた岩窟のせいで平安時代にほられたにもかかわらず彩色のあとが残っていました。若草山は山開き前で人も少なく閑散としていました。ウィークデーとしては距離が長くハードな山行となり、無事奈良駅についた時はホットしました。リーダーの今後若草山は山開きの後に行くようにというアドバイスがしみしました。

(五十嵐 記)

**自然保護部 御鯨街道から金華山、岐阜城 3月20日**

CL松本(正)・石野(博) 参加14名

JR岐阜駅 9:50 → 御鯨街道東別院 10:35 → 伊奈波神社 10:50 →  
百曲口 11:15 → 岐阜城天守閣 12:00 ～ 13:15 →  
水の手道 14:30 → 長良川旧町家 14:45 → 岐阜公園バス停 15:30 →  
岐阜駅 16:00

城郭シリーズ 彦根城に続いての企画。青春18切符を使って歴史のすきな(?)男6名、女8名が岐阜城へ向かった。岐阜駅前には黄金の織田信長像があり驚かされる。御鯨街道は鮎のなれずしを幕府に献上の際、通ったところから名が付いた。目の前の金華山に岐阜城がそびえ立ち、いざ山登りスタート。中級コース百曲り登山道を選び、40分間 結構きつい岩、がけのぼりだった。ヒノキ、アラカシ、スギなどの森林帯を抜け、展望台へ到着。一息ついて、岐阜城天守閣入城。360度見渡せる見事な眺望。木曾御岳、北アルプスがうっすらとかすむ。眼下には鵜飼で有名な長良川が悠々と流れる。帰りは、めい想の小径を約1時間で下山。岐阜公園でささやかな反省会をして、おみやげも買って、“18切符旅”は楽しい一日となりました。(石野(明) 記)

**例会山行 能勢妙見山 3月26日 L飯塚 参加44名(内一般0名)**  
9:31 妙見口駅着・・・10:10 体操・コース説明・・・10:30 上杉尾根コース・・・11:10 休憩・・・12:10 妙見山着(昼食・トイレ休憩) 12:50 各部の案内、ストレッチ等・・・13:10 初谷溪谷コース15:20 妙見口駅着、挨拶・解散

妙見口駅から花折街道を可愛らしい手作り雛に迎えられ、未だ春遅いのどかな里山風景をゆっくりと楽しみながら展望の良い上杉尾根コースを登りました。「妙見さん」は北極星が守護神と言うことで「星嶺」と呼ばれる印象的な☆型の建物を仰ぎ見つつ昼食+各部からの案内後、副会長&教育部長から下山時の事故や足の疲労について注意喚起をして頂き、全員で軽いストレッチをして初谷溪谷コースの下山に臨みました。例会当日に「沢道は基本下らない!」と知った新米CLの懸念も余所に、皆さんが慎重かつ集中して行動して下さったお陰で本格的な雨に会うことも無く素晴らしいほど予定時刻通りに無事下山することが出来ました。本当に有難うございました。(やはり副会長、教育部長のお言葉の効果はすごい? 笑) 担当となり今回初めて妙見山に登ったのですが、下見時にこのコースが「狐の剃刀・リコリス」の群生地であることを発見し!(←ネットで調べたらちゃんと出てました～) また次の季節、それを確かめるべく訪れる楽しみが出来ました。

(飯塚 記)

**土曜山行 蜻蛉の滝から青根が峰、百貝岳 4月8日**

L猪瀬 S島袋 参加13名

あきつの公園 9:20→まがり谷 10:10→青根が峰山頂 11:30 昼食 11:55→百貝岳 12:55→金峯神社 13:50→如意輪時 14:55→近鉄吉野駅 15:40 解散

降水確率60%の予報でしたが、車窓から見える桜は満開で、日差しも見えたので、予報が外れることを期待しましたが、蜻蛉の滝を周回後しばらく歩くと小雨、青根が峰山頂に着くころには止んでほっとしたのもつかの間、百貝岳からの復路は本降りになり、金峯神社の休憩所まで急いで下り雨宿り。如意輪寺への下りは石畳の滑りやすい道で心配でしたが、無事に通過でき、寺の手前から桜が見えた時は心が弾みました。雨の中無事に下山出来たことがなによりです。

(猪瀬 記)

## 自然保護 熊野古道 小辺路、水ヶ峰峠~越子峠越え

4月8日(土) ~9日(日) L 阪上、石野 (明) 参加 23名

4/8 森ノ宮 7:00 出発 (バス) →高野山先手院橋バス停 9:30 出発→薄峠 10:00  
→大滝 11:45 (昼食) 12:15→水ヶ峰分岐 13:20→東屋 14:30→平辻 15:10→野迫川  
16:20 野迫川温泉 ホテルのせがわ 宿泊

4/9 宿舎 7:30 出発 (バス) →大股 (バス停) 8:00→萱小屋跡 9:10→桧峠 10:05  
→伯母子峠 11:10→伯母子岳頂上 11:25→伯母子峠 11:45 (昼食) 12:20→上西家跡  
13:20→弘法大師座像 (水ヶ元) 14:15→三浦口バス停 16:05→森ノ宮着 19:10

恒例の熊野古道 今回も満員御礼 21名+補助席2名 計23名の参加者となりました。小春日和での古道歩きの予想を裏切り、1日目は午後から、2日目は午前中と2日間とも雨の古道歩きとなりました。熊野古道最大の難路と言われる小辺路の入り口高野山~三浦口 (歩行7時間 17km+歩行7時間 16km) 長時間雨の中の歩行にもかかわらずケガ人もなく、皆さん、和気あいあいとした楽しい古道歩きとなりました。夕食時のカラオケ大会では、何と!! 副会長 T 中さんが歌を・・・初めて聞きました。若手新会員の2名の方も大活躍!、I 野さんの華麗なる踊りも披露され楽しい宴会となりました。帰りは、渋滞もなく予定通り無事に森ノ宮に到着しました。皆さん!! 参加ありがとうございました。

(森本 代記)

## ターブルドート 室生古道から仏隆寺 4月16日

L 五十嵐・早川 20名

五十鈴川行き急行 近鉄鶴橋駅 8:18 分発→室生口大野駅 9:12 着

室生口大野駅出発 9:20 ~ 大野寺 9:40 ~ 室生ダム 10:05 ~ 竜鎮溪谷入口  
10:25 ~ 仏隆寺分岐 12:10 (昼食) 12:40 ~ 唐戸峠 13:15 ~ 仏隆  
寺 13:45 ~ 高井 14:40 (解散) ~ 榛原駅着 15:45

前日の荒れた天気とうそのように穏やかな陽気になり、室生口大野駅の満開の桜の中を出発。大野寺の枝垂桜や室生ダムの桜と花見をしながら歩く。アスファルトの多い山行の中で新緑の竜鎮溪谷をのんびりと歩きながら自然と対話したり、渡渉を繰り返していく。唐戸峠までの緩やかな登りは下見の時の一面の雪の中を歩いたしんどさがよみがえってきた。古道から仏隆寺が見えた時桜よりつつじの鮮やかな色が目に飛び込んできて、仏隆寺の千年桜をみたいと思っていた気持ちを圧倒した。その後高井まで行きそこで解散。バスの時間まで1時間以上あったのでそこから榛原までアスファルトの道を延々1時間かけて歩いたのは、担当として時間の配分ができなかったと反省。

(五十嵐 記)

### 教育部山行 春山訓練(芦屋川駅→ピラーロック砂山) 4月16日

L高桑 参加7名

08:30 阪急芦屋川駅前集合 10:00 砂山~14:00 アイゼンワーク、クライムダウン訓練、フィックスロープ訓練 15:00 芦屋川駅 芦屋川河川敷で春山参加者会議&花見

砂山(風吹岩付近)までボッカ砂山でアイゼンワーク訓練、トラバース歩行ができないというより意識の欠如に嚴重注意、訓練であっても常に緊張を求められる場所と想定して訓練するように指導。その他、クライムダウン やフィックスロープの扱いなどの講習。下山後、飲み物などはコンビニで各自購入で芦屋川で花見&春山参加者会議実施。昔の反省会はこんな感じだったよねってひとり懐かしく思う。

(高桑 記)

### 有志山行 野伏ヶ岳(奥美濃) 4月5日 L井 参加4名

白山中居神社(5:50)→ダイレクト尾根分岐(8:40)→(11:30)野伏ヶ岳(11:50)  
→ダイレクト尾根分岐(13:30)→白山中居神社(15:55)

岐阜、福井県境の積雪期にしか登れないやぶ山。又、山スキーヤーの山でもあり、雪はたっぷりでした。しっかりしたトレースがついていて迷うことなく、頂上へ。天候にめぐまれ頂上からは、白山や荒島岳など360度の山風景を楽しめました。下りダイナミック尾根は軟らか雪で尻セードしにくく、又、コース半分程度を占める下りの林道で使えないかと持参したソリも、軟雪で困難。それでも、早朝の氷雪道や頂上直前での急登のアイゼン歩行、下り林道のワカン歩行など変化のある雪山を楽しみました。勿論、天候にもよりますが、雪の締まった3月中旬位までが、「滑り」を遊ぶには適期かなと思われました。

(井 記)

有志山行            愛宕山            4月15日            L木村(佐)            参加10名

清滝 10:05 ~ 水尾の別れ 12:00 ~ 愛宕山 12:40 ~ 月輪寺 14:  
20  
~ 清滝 16:00

夏山の訓練山行を愛宕山に決め、一番時間を要する表参道の登りと月輪寺の下りを選ぶ。午前中はだんだん雲行きがあやしくなり、カッパを着たり脱いだりしてこまめに調節する。昼頃から天気も良くなり、ツェルトがどんなものかや、使い方を高橋さんより説明してもらった。初めての人もいたので良かったと思う。

(木村(佐) 記)